

首都圏の緊急事態再宣言にかかる第1回技能検定埼玉大会の開催について

NPOそばネットジャパン会員各位

第1回そばづくりリスト技能検定埼玉大会受検者各位

NPOそばネットジャパン 代表理事 阿部成男

昨日、首都圏(1都3県)に再度の緊急事態宣言が発出されました。

詳細は報道によりご存じのことと思いますが、昨年緊急事態宣言の内容とは大分違って、飲食店の時間制限等が主体で、外出自粛も午後8時以降としており、イベントの開催については現状の入場総数の5割以下としており、外出制限も1都3県内の外出自粛要請はあるものの圏外からの移動については特に触れていません。

また、この度の検定会を開催する会場の埼玉県県民活動総合センターは予約済みのイベントについては入場定数の5割以下、消毒、換気等感染防止対策を講じることで使用可能となっております。

もちろん、新型コロナウイルス感染拡大に歯止めがかからず、国を挙げて拡大を抑止するための対策であり全国民が協力しなければならず、緊急事態宣言を軽視することはできません。

ただ、会員の皆さまへの新年のご挨拶に「そばネットジャパンは単なる趣味のそば打ち集団ではなく”伝統食文化の代表格といえる”手打ちそば”の継承・発展のための”文化活動”であり、”感染防止対策のための知恵”を出し合いながら事業を展開していくことが大切なのではないかとの結論に達しました。」を表明したこと、さらに、この検定会のために真摯に稽古を重ねてきた多くの受検者が受検を希望していることも考慮しなければなりません。(事実、開催の可否について受検者を抱える団体正会員からの問い合わせでも開催を望む意見が多々あります。)

したがって、当法人理事会は下記のとおり感染防止対策の強化を講じた上で予定通り検定会を開催することとしますので会員、受検者各位のご理解を賜りますようお願いいたします。

記

1 現在までの感染防止対策

- ① 施設が規定する会場の定員の2分の1以下、特に検定会場は3分の1以下の人数で実施します。

具体的には検定会場定員210人のところ、1組当たり8~9名(1日当たり32名)で、スタッフは最大40人とし定数の4分の1程度とし、換気にも十分配慮します。

もちろん、応援、見学はできません。

- ② 入場時全員体温測定し37.5度以上は受検者、スタッフ共に入場できません。
- ③ 入退場の際、手指の消毒を徹底し、受検者、スタッフ全員マスクとフェイスシールドを着用していただきます。

2 強化する感染防止対策

- ① 開会式、成績発表、閉会式は、今まで検定会場で開催していましたが、検定用機材があつて密になりやすいので、120人収容の別部屋で座席の間隔を開けて実施します。

- ② 昼食についても、各人の間隔を開けるため上記の室を使用します。

施設はレストランも開業していますが、受検者は弁当を持参するなど、この室で食事をとることをお勧めします。

スタッフもスタッフ控室と上記の部屋を使用して余裕を持った間隔で食事をしてください。

※ 以上の感染防止策の追加により、予定していたそば道具販売は中止とさせていただきます。

そば道具購入を予定していた方には申し訳ありませんが、現在、埼玉県県民活動総合センターは2階の改修工事をしており、部屋の追加借用ができないため、ご了承を賜りますようお願いいたします。